

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075 - 211 - 3468
FAX 075 - 211 - 4345

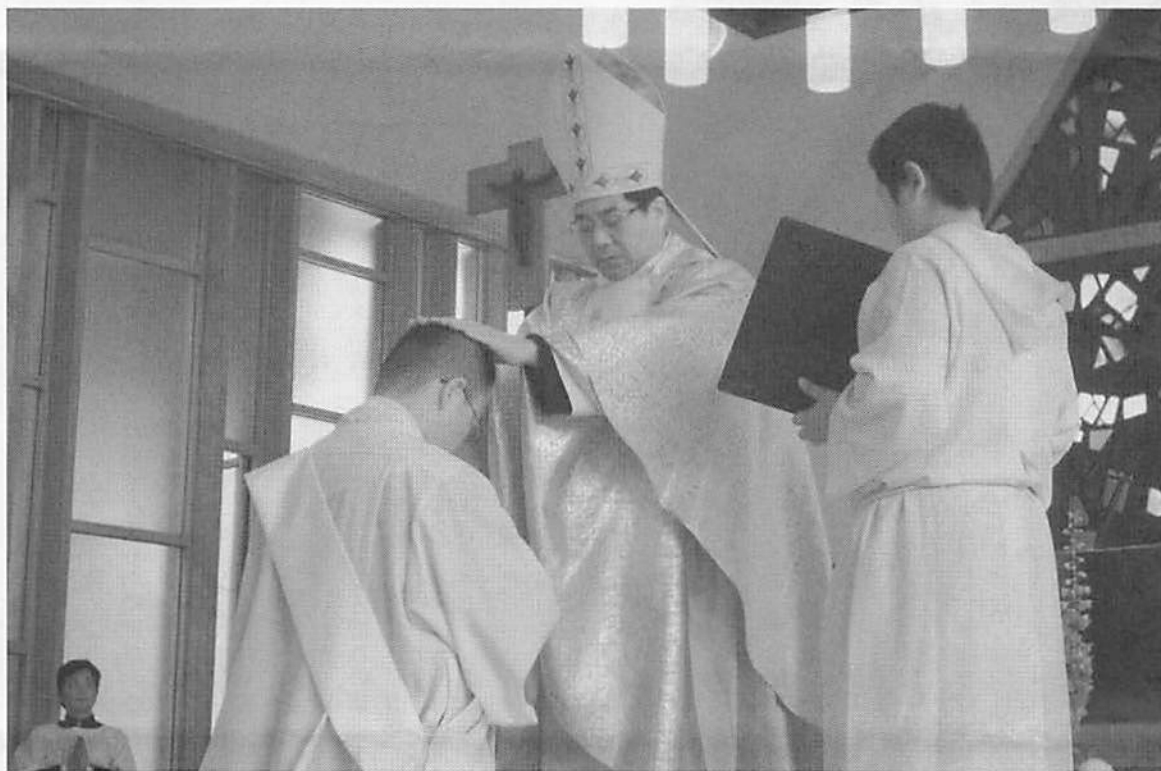
Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3～5頁 2007年度会計報告

8～9頁 司祭人事、委員会担当司祭一覧

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さ
んまでお申込みください。

TEL・FAX 0794 - 31-8601



写真は、鶴山進栄司祭叙階式の司教按手の場面です

ディエゴ加賀山隼人

「隼人」という呼び名に、何を想像しますか。そう彼は、戦国に生きる勇気ある武士。

織田、豊臣、徳川三大将軍を知る人、高山右近、蒲生氏郷、細川忠興に仕えた武人。

彼が仕えた主人を知れば、彼がどんな時代を生きた人かを知ることが出来る。しかも彼は郡奉行だった。民衆ともっとも身近に接する管理職である。

彼の福音の話の場は、抽象的な世界ではなく、歴史的現実の場にあった。その中で彼にはもう一つの仕えるべき方、それはキリスト、貧しく苦しむ者の友、十字架のキリストがあった。そのキリストを愛して、キリストのように生きたこと、それが彼の生涯の証しである。信仰のため家、財産、地位も奪われ、貧しく虐げられ、自分の命を奪われても天国をみつめて喜びの中に待つ姿がある。かれは信徒職の模範であり、家族の父として愛する家族が共に主の栄光を見る幸いを得る。祈りと瞑想に首を垂れる頭上に一閃のひらめきがあった。

(村上透磨)

5
2008

188殉教者紹介 14

高山右近に育てられた

ディエゴ加賀山隼人とその家族

ディエゴ加賀山隼人とその家族の処刑は、小倉、日出(大分)、熊本、3か所で執行され、最初の殉教と最後の殉教の間に17年の開きがある。それはキリスト信者の家族と彼らの純粋な信仰の証しである。

ディエゴ加賀山は、1566年、高山右近の居城であった高槻城で生まれ、少年期に同宿として活躍したので、おそらく安土のセミナリヨで勉学に励んだと思われる。



熊本 花岡山

武士として高山右近に仕え、右近追放後には細川忠興の家臣になり、その立派な人格と功績により、小倉の総家老にまで取り立てられたが、つねに公然とキリスト信者として行動した。とくに小倉時代にはセスペデス神父の指導のもとで、その教会の指導者になった。細川忠興による1611年の宣教師追放後にも、ディエゴは信念を通し、それによって主君との対立がますます深くなった。ディエゴ

は、ついに家老職を解かれて、2年間、蟄居の身となり、貧しい生活を送った。特にこの時のディエゴの徳と祈りの精神が人びとに感化を与えた。加賀山隼人の信仰に勝つことができなかった細川忠興は、將軍の圧力を恐れ、彼の処刑を命じた。1619年10月15日、小倉市外で斬首された。最後の時まで冷静な態度と祈りの精神を守り通した。同じ時、同じ理由でディエゴのいとこバルタサル加賀山とその息子ディエゴも豊後の日出で殉教を遂げた。

ディエゴ加賀山には3人の娘があった。次女ルイザと三女は中津で細川忠利に預けられていたが、父と同じく信仰深い生活を送った。長女みやは、すでに小笠原玄也と結婚していた。小笠原は細川家の親戚でもあったので処刑を免れたが、人里離れた貧しい家に子供たちと一緒に監禁された。13年間にあつた厳しい生活の中でも、子供たちの信仰をりっぱに育てた。1632年、細川が熊本に移封されたとき、彼らも同行を命じられた。1638年、一訴人が賞金目当てに玄也とその家族を長崎奉行に訴え出たので、奉行からも幕府からも迫られ、忠利はついに

玄也とその家族の処刑を命じた。1638年1月30日、花岡山の麓にある禪定院において、玄也、みや、それに8人の子供と4人の従者が殉教を遂げた。

世を去る前、彼らが親戚と友人に送った遺書が現存しており、読む人に深い感銘を起こさせる素晴らしい信仰の証しを示している。江戸末期、花岡山の中腹でその墓が発見され、現在その傍らに碑が建てられている。そこでは毎年、熊本の教会が合同で殉教記念祭を行っている。

5月のキリシタン関係行事

○4日(日) 14時

都の聖母奉賛ミサ

場所 將軍塚

○5日(月) 10時半

右近こども祭り

○11日(日) 10時

場所 大和榛原

ガラシヤ祭

○24日(土) 9時半

場所 京丹後市味土野

○24日(土) 13時半

場所 京都の大殉教巡礼会

○24日(土) 13時半

場所 河原町教会出発

列福記念講演会

場所 河原町ヴィリオンホール

2007年度カトリック京都司教区会計収支報告

いつも京都司教区のために、ご協力頂き有難くお礼申し上げます。こどもと、2007年度のカトリック京都司教区の教区本部会計と小教区会計の収支について、ご報告致します。なお、教区本部会計並びに小教区会計(合算)の内容は別表の通りです。

〔小教区会計について〕

皆様から納めていただいた教会維持献金総額は、今年度は187,346千円でした。5年前2002年度の教会維持献金総額は216,621千円でしたから、この5年間に29,275千円、率にして、13.5%減少したことになります。

〔教区本部会計について〕

1. 支出について

- ① 福音宣教活動費について、これまで教育養成費に含めていた神学生養成費、教区事業活動費に含めていたアジア交流費、国際交流費を、新たに科目を設けてより内容が明確になるようにしました。アジア交流費は済州教区からの助祭受入れ等が主なものです。なお、福音宣教活動費全体では昨年度とほぼ同額です。
- ② 寄付金支出は、前年より仁豊野ヴィラ(高齢司祭・修道者の共同生活の場)の入居費用(現在2名入居)を寄付金扱いに変更したため多額になっています。
- ③ 維持管理費が14百万円と多いのは、小教区の建物改修費のうち、決算上、この科目の中の修繕費で処理したものがあからずです。
- ④ 特別勘定支出については、昨年、伊勢市小俣町・宮津市由良の教会跡地を売却しましたが、その売却収入(資産運用収入に計上)を今後の当該地域の必要に備えての積立金(小教区特定積立)としました。また、司教座修築積立金として約18百万円を計上しました。
- ⑤ 資産支出ですが、土地は丹波教会亀岡聖堂の隣接地を購入、また、建物・建物附属設備は九条教会・長岡教会・宮津教会・カトリック会館の改修工事によるものです。対応する収入を建設分担金収入として計上しています。

2. 収入について

- ① 納付金収入について、年度により異なる建設分担金収入を除くと前年度比約7百万円の減で、05年以降の3年間の推移を見ると毎年6～7百万円の減と漸減傾向にあります。
- ② 京都の大殉教記念献金をお願いしておりますが、07年12月末現在では、2,047千円にとどまっています。今後、色々な事業が計画されていますので皆さんの絶大なご協力をお願いします。その他の寄付金として当年度も篤志家の方より多額のご寄付を頂きました。感謝してご報告します。
- ③ 収入合計では、特別な要因(建設分担金の増・土地売却収入増など)を除くと、2,849千円の減収です。

〔終わりに〕

小教区会計でご説明したように、維持献金が年々減少しています。色々な要因があり、また事情があると思いますが、信徒の義務として収入の3パーセントを目安として納めていただくよう是非お願い致します。

2008年4月

カトリック京都司教区

本部事務局長 北村 善朗

京都司教区 2007年度 教区本部会計収支報告書

自2007年1月1日 至2007年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	203,096	I 経 常 収 入	269,997
1 福 音 宣 教 活 動 費	62,231	1 納 付 金 収 入	200,870
祭 儀 費	1,270	司 教 納 付 金	2,673
教 育 養 成 費	2,017	司 祭 司 牧 納 付 金	7,728
神 学 生 養 成 費	7,619	小 教 区 納 付 金 (A)	39,146
諸 委 員 会 活 動 費	4,214	小 教 区 納 付 金 (B)	77,226
教 区 事 業 活 動 費	44,133	小 教 区 納 付 金 (C)	24,563
諸 活 動 団 体 補 助 金	342	小 教 区 納 付 金 (D)	1,431
ア ジ ア 交 流 費	968	福 音 宣 教 協 力 金	6,570
国 際 交 流 費	509	建 設 分 担 金 収 入	41,533
会 議 費	1,100		
図 書 費	59		
2 寄 付 金 支 出	3,690	2 寄 付 金 収 入	56,951
3 特 定 献 金 支 出	12,176	一 般 寄 付 金 収 入	2,252
4 人 件 費	102,681	収 益 部 門 収 入	28,651
5 維 持 管 理 費	14,114	そ の 他 の 寄 付 金	26,048
6 事 務 管 理 費	8,204	3 特 定 献 金 収 入	12,176
II 墓 地 勘 定 支 出	4,087	II 墓 地 勘 定 収 入	9,572
墓 地 管 理 費	1,312	墓 地 使 用 料 収 入	3,585
墓 苑 整 備 費	2,775	墓 地 祭 儀 収 入	5,987
III 特 別 勘 定 支 出	39,930	III 特 別 勘 定 収 入	15,051
一 粒 会	0	一 粒 会	11,407
一 万 匹 の 蟻	0	ア ジ ア 基 金	739
聖 堂 修 築 積 立 金	17,990	一 万 匹 の 蟻	2,425
小 教 区 特 定 積 立	21,940	国 際 協 力 基 金	480
		と き わ ハ ウ ス 勘 定	—
IV 資 産 支 出	51,053	IV 資 産 運 用 収 入	37,072
土 地	13,653	預 金 利 息 収 入	13,631
建 物	22,705	土 地 売 却 収 入	23,441
建 物 付 属	12,129	資 産 売 却 収 入	—
構 築 物 品	781		
什 器 備 品	745		
車 両	1,040		
福 音 宣 教 基 金	0		
V そ の 他 の 支 出	4,325	V そ の 他 の 収 入	3,272
VI 予 備 費	0		
支 出 計	302,491	収 入 計	334,964
当 期 収 支 差 額	32,473		
支 出 合 計	334,964	収 入 合 計	334,964

京都司教区 2007年度 小教区会計収支計算書

自2007年1月1日 至2007年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経 常 支 出 の 部		経 常 収 入 の 部	
(宣 教 司 牧 費)	70,662	(信 徒 通 常 献 金)	246,597
祭 儀 費	17,028	教 会 維 持 献 金	187,346
司 牧 費	2,006	ミ サ 聖 祭 献 金	44,826
委 員 会 活 動 費	2,172	大 祝 日 (特 別) 献 金	14,425
宣 教 広 報 費	3,696	(特 定 献 金)	17,317
宣 教 育 成 費	1,172	(特 別 献 金)	113,869
養 成 費	1,633	祭 式 献 金	22,580
青 少 年 育 成 費	4,095	一 般 特 別 献 金	63,087
新 聞 図 書 費	2,147	営 繕 献 金	16,129
会 議 費	604	建 設 献 金	9,344
行 事 費	9,660	墓 地 納 骨 堂 建 設 献 金	76
慶 弔 費	4,046	特 別 事 業 献 金	2,653
援 助 費	11,182	(助 成 金 収 入)	1,500
諸 団 体 分 担 金	11,221	教 区 助 成 金	1,000
(特 定 献 金 支 出)	17,540	修 道 会 助 成 金	500
(納 付 金 支 出)	159,430	(墓 地 ・ 納 骨 堂 等 収 入)	5,673
教 区 納 付 金 支 出 (A)	35,241	使 用 料 収 入	2,793
教 区 納 付 金 支 出 (B)	69,265	墓 地 祭 儀 収 入	2,880
教 区 納 付 金 支 出 (C)	18,627	(補 助 活 動 収 入)	1,532
教 区 納 付 金 支 出 (D)	1,350	(雑 収 入)	496
修 道 会 納 付 金 支 出	480	(資 金 運 用 収 入)	5,956
建 設 分 担 金 支 出	34,467	預 金 利 息 収 入	2,291
(運 営 管 理 費)	115,363	受 取 配 当 収 入	3,577
(補 助 活 動 支 出)	427	信 託 利 子 収 入	88
(墓 地 ・ 納 骨 堂 管 理 支 出)	1,269		
経 常 支 出 合 計	364,691	経 常 収 入 合 計	392,940
財 務 支 出 の 部		財 務 収 入 の 部	
(固 定 資 産 支 出)	72,274	(固 定 資 産 収 入)	72,741
建 物 付 属 設 備 購 入 支 出	6,319	祭 儀 備 品 売 却 収 入	0
構 築 物 購 入 支 出	0	墓 地 使 用 権 売 却 収 入	0
祭 儀 備 品 購 入 支 出	1,178	特 別 目 的 預 金 取 崩 収 入	72,741
器 具 備 品 購 入 支 出	3,730		
墓 地 使 用 権 取 得 支 出	0		
特 別 目 的 預 金 積 立 支 出	61,047		
(そ の 他 の 財 務 支 出)	18,434	(そ の 他 の 財 務 収 入)	10,324
(資 金 調 整 勘 定)	△ 5,005	(資 金 調 整 勘 定)	△ 827
財 務 支 出 合 計	85,703	財 務 収 入 合 計	82,238
支 出 合 計	450,394	収 入 合 計	475,178
次 期 繰 越 金	258,446	前 期 繰 越 金	233,662
合 計	708,840	合 計	708,840



福音センターニュース

188殉教者列福記念講演会

殉教者を育んだ教会共同体

わたしたちは今、

そこに何かを見出せないだろうか

日時：2008年5月24日(土) 午後1:30～4:00

プログラム 1:30～1:40 ごあいさつ

1:40～2:00 古楽器演奏
(坂本利文・洋子夫妻)

2:00～3:30 講演

3:30～4:00 質疑応答

講師 川村 信三 師

(イエス会司祭・上智大学文学部史学科准教授)

場所 河原町教会 ヴァイオンホール

参加費 無料

京都司教区列福記念事業

問い合わせ先：京都カトリック福音センター
〒604-8006

京都市中京区河原町通三条上ル

Tel 075-229-6800

Fax 075-256-0090

E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



でいつすのぞく奉公にすすむべきじゃ...

～キリシタン共同体の歩みとはたらき～

福音センター養成講座

祈り

わたしのこばを、彼らの胸の中に授け

彼らの心に、それを記す

(エレミヤ 31,33)

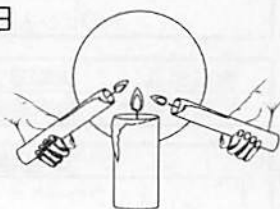
美しく静かな環境の中での一泊二日

あなたの祈りの道を開く鍵となるでしょう

- 日 付：5月29日(木)pm 2:00 ~ 30日(金)pm 4:00 予定
- 講 師：トニー・ブロードニャク師(リノール宣教会)、sr.中山真里、sr.菊池陽子
- 場 所：唐崎ノートルダム修道院(JR 湖西線唐崎駅下車徒歩 15 分)
- 定 員：14 名(お申込み締め切り、5月22日(木)までに下記へお申込み下さい)
- 費 用：11,000 円

第 31 回 結婚講座のご案内

- 日 付：2008 年 7/12、7/26、8/2 の各土曜日
- 時 間：午前 10 時 30 分～午後 3 時
- 場 所：河原町会館 8 階ホール
- 費 用：お一人 10,000 円(昼食付)
- 対 象：教会で結婚式をなさる方



この講座では、教会での結婚式の意味を学びながら、和やかな雰囲気の中でお二人の関わりを深め、より豊かな結婚生活を目指して心の準備をしていきます。

※事前に所属教会司祭、又は挙式司祭の承諾を得て、お申し込み下さい。

※カップル対象で内容が組まれていますので二人揃って全部出席されることを原則とします。

問い合わせ・申し込み先

郵便番号・住所・氏名・参加コース名(祈り又は結婚講座)とご記入の上、参加費を郵便振替口座(00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース)へお振込み下さい。

〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上ル 京都カトリック福音センター
Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

2008年 司祭人事一覧

2008年4月1日

京都北部地区		滋賀地区	
宮津ブロック 共同宣教司牧 網野・岩滝・加悦 丹後大宮・峰山・宮津 近藤雅広 エルメル・ディマルクト	舞鶴ブロック 共同宣教司牧 綾部・西舞鶴・東舞鶴 福知山・報恩寺 M. フォールテン 井上 武	湖西ブロック 共同宣教司牧 大津・唐崎・安曇川 瀧野正三郎 ファウスティノ・ガロ	湖東ブロック 共同宣教司牧 草津・甲賀・彦根・長浜 J. ジャクソン R. デ・ヴァルス
フィリピン人司牧:エルメル・ディマルクト		フィリピン人司牧:ファウスティノ・ガロ ラテンアメリカ人司牧:デ・バルス	

京都南部地区	
北ブロック共同宣教司牧 衣笠、小山、西陣、西院、宇津、山岡 福地幹男 森田直樹	
西ブロック共同宣教司牧 桂、九条、長岡、丹波 福岡一穂 村上真理雄 西野猛生(協力)	東ブロック共同宣教司牧 河原町、北白川、高野、山科 花井拓夫、外崎 豊 Y・ボアベール、H・グンテル ルカ・ホルステインク(協力)
南ブロックA 共同宣教司牧 伏見、桃山、八幡 東門陽二郎 J. A. ロペス	南ブロックB 共同宣教司牧 宇治、青谷、田辺、精華 北村善朗 鶴山進栄
フィリピン人司牧:ルカ・ホルステインク ラテンアメリカ人司牧: J. A. ロペス	

教区司教	大塚喜直	司教総代理	村上真理雄	本部事務局長	北村善朗
司教館気付	松本秀友	上田 巖(仁豊野ヴィラ)	山田 右(仁豊野ヴィラ)		

奈良地区	三重地区
北部ブロック共同宣教司牧 高雄、登美ヶ丘、奈良、大和郡山 K. タロク S. ニュージェント マルコ・アントニオ・ナバロ	北勢ブロック共同宣教司牧 桑名、四日市、鈴鹿、亀山 E. モンレアル 村上透磨 A. バルデス
南部ブロック共同宣教司牧 御所、西大和、大和高田、大和八木 奥村 豊 アキリノ、タバモ 一場 修 J. ヒル(地区協力) フィリピン人司牧:アキリノ・タバモ ラテンアメリカ人司牧:M. A. ナバロ	中勢ブロック共同宣教司牧 上野、名張、津、久居 R. ネリグ B. ニシムラ J. ハメル(協力)
	南勢ブロック共同宣教司牧 伊勢、松阪 柳本 昭 P. オヘール フィリピン人司牧:R. ネリグ ラテンアメリカ人司牧:ブルーノ・ロハス

※ フィリピン人・ラテンアメリカ人司牧担当は各地区の代表窓口

教区委員会担当司祭

(2008年4月1日付)

〈教区委員会〉

▼「教理委員会」東門陽二郎

▼「青少年委員会」

中学生会

マルコ・アントニオ・ナバロ、

奥村豊

中学生広島巡礼

マルコ・アントニオ・ナバロ、

福岡一穂

高校生会

瀧野正三郎、外崎豊

アジア体験学習 柳本昭、鶴山

進栄

ワールド・ユース・デー

マルコ・アントニオ・ナバロ、

エルメル・ディマルクト

▼「カトリック正義と平和京都協議会」

J・A・ロベス、西野猛生

▼「国際協力委員会」

柳本昭(代表)

ラテンアメリカ人司牧

ブルーノ・ロハス、J・ハメル、

R・デ・バルス、J・A・ロベ

ス、エンリケ・ルイス、P・オ

ヘル、M・A・ナバロ

フィリピン人司牧

ルカ・ホルステインク、R・ネ

リグ、J・ジャクソン、エルメル・

ディマルクト、アキリノ・タバ

モ、ファウステイノ・ガロ

在日韓国人司牧

J・A・ロベス

▼「典礼委員会」村上透磨、北村

善朗、奥村豊、福地幹男

▼「聖書委員会」村上透磨、北村

善朗、一場修

▼「信仰教育委員会(教会学校部

門)」

北村善朗、一場修、奥村豊

▼「衣笠墓苑管理委員会」

花井拓夫

▼「アジア交流委員会(KYOS

IA)」花井拓夫(京都府州姉

妹教区交流部)

▼「教区諸活動、諸組織担当」

▼「京都カトリック福音センター」

外崎豊、P・オヘル

▼「京都カトリック青年センター」

奥村豊、瀧野正三郎、鶴山進栄

▼「共同宣教司牧推進チーム」

西野猛生、福岡一穂

▼「神学生養成担当者」北村善朗、

福岡一穂、エルメル・ディマル

クト

▼「教区時報」担当者

村上透磨、瀧野正三郎、外崎豊

▼「教区ホームページ担当者」

瀧野正三郎、外崎豊、J・A・

ロベス

▼「カリタスジャパン担当」

A・バルデス

▼「教区歴史資料室(旧 資料委

員会)」教区本部事務局

▼「神学生・司祭養成協力会(一

粒会)」花井拓夫

▼「祈祷の使徒会」

教区本部事務局

▼「京都教区 諸宗教対話担当」

花井拓夫、ルカ・ホルステイン

ク

▼「教区内・諸活動団体担当」

▼「希望の家(相談役)」

J・A・ロベス

▼「JOC(カトリック青年労働

者連盟)」瀧野正三郎(京都・

滋賀JOC)

▼「京都教区カトリック学校連絡

会」大塚喜直

▼「日本カトリック看護協会(教

区担当)」Y・ボアペール

▼「京都教区カトリック幼稚園連

盟」瀧野正三郎

▼「日本カトリック保育施設協会

(相談窓口)」村上真理雄

▼「カトリック・スカウト(CB

S)」森田直樹

▼「カトリック教誨師(各府県教

誨師連盟への派遣司祭)」

花井拓夫(滋賀刑務所)

濱崎敦(奈良少年刑務所)

東門陽二郎(京都刑務所、京都

拘留所)

R・ネリグ(三重刑務所)

▼「レジオ・マリエ(京都コミチ

ウム)」村上真理雄

▼「子羊会(相談役)」外崎豊

▼「京都MAC」花井拓夫

▼「カトリック聴覚障害者の会京

都グループ」柳本昭、森田直樹

▼「外部団体教区代表」

▼「大阪教会管区部活動活動セ

ンター」西野猛生

▼「京都キリスト教協議会(KC

C)」ルカ・ホルステインク、

北村善朗

▼「JOC(日本キリスト教海

外医療協力会)代表」

J・A・ロベス

瀧野正三郎神父



所属京都教区
生年1947
叙階1975

昨年の五月から健康のために近くのスポーツクラブに通っています。毎月九千円の会費が必要ですが、アルコールを飲んでいた時のことを考えると、格安で、回りの人に迷惑をかけることもありませ

.....
ここにちは神父さん

米田彰男神父



所属ドミニコ
会
生年1946
叙階1980

1981年から4年間、カナダとスイスで学び、その間横浜教区の田代神父とローマを訪ねた際、学生時代に会ったが、そのうちの大家、梅村神学生が後に司教に叙階された。帰国後すぐ京都に赴き、修練長と8年間の管区長を勤めた

こうした今の生き方ができるよ

うになれたのは、自分一人の力では

なく、一人の働く青年の協力があ

ったこと。私がアルコールに依存

した生活から抜け切れな

いである時、二人で約束しまし

た。「お互いに、たばことアルコー

ルをやめよう。もし、吸いたくな

ったり、飲みたくなったら、連絡

しあおう。」

おかげで、アルコールを飲まな

くても生活できるようになって、

十七年半になります。

のだが、一方で東京の清泉女子大

学の教授になってしまい、若者ら

に聖書やキリスト教思想、ラテン

良書紹介

『ヨハネによって』

イエスの福音を読みとる

澤田和夫著 (サンパウロ)

あと書きに「イエスの弟子マ

タイはマタイなりに、マルコは

マルコなりに……イエス様の言

行録を書きつけました。みづか

らを受する弟子、愛された弟子

と自負するヨハネも語れたかっ

たと思います。それがヨハネの

福音書です」とあります。澤田

師は澤田師なりに、ヨハネに

よってイエスの福音を読み取る

うとして、この書を著されたの

でしよう。いつものたんとした

語り口、しかもついで、何時

の間にか、福音の「音」、御言

誰かのお名前なのです。師もそ

の『お名前の言』を拝むように、

この福音書朗読によって読みと

ろうとされているように思いま

す。外にも師は、『待つ』『信

仰と祈りへの招き』『詩のよう

に歌うように』などの著があり

ますが、私はかつて学生時代に、

授業というより一緒に学ぶよう

にして教えてくださった時の、

あの口調を思い出しながら師の

書を読む私の、聖書の読み方に

大きな影響を与えたものに『キ

リストの建設』(中央出版)があ

ります。この書は1966年

カトリック学連の京都における

全国大会の時の講義集であり、

祈りだ」と書いています。

もう一つ「生き生きとした

信仰を育てる」(オリエンス)。

これは東京教区修女連主催の

1988年のカテジスの記録

です。「実践的信仰を育て、主

を知る夢を広めるため役立つこ

とを願って」語られています。

(村上透磨)

お知らせ

青年センターから

▼聖書の集い24日(土)▼青年の集いは18日(日)に予定されていましたが、6月29日(日)に変更になりました。

福音センターから

▼188殉教者列福記念講演会「でうすのご奉公にすすむべきこと」24日(土) 13時半 ヴィリオンホール

教区委員会から

◆聖書委員会▼よく分かる聖書の学び28日(水) 10時半 河原町会館6階ホール▼聖書講座シリーズ7・8日大塚喜直司教、21・22日中川博道師▼聖書委員会への電話は毎週水曜日と木曜日の10時～16時の間にお願います。電話075(211)3484

◆京都済州姉妹教区交流部▼第3

回済州島「聖母の夜」と聖地巡礼の旅15日(木)～17日(土)

修道会から

◆聖ドミニコ女子修道会▼ロザリオを共に祈る会16日(金) 10時

半 どのたでもどうぞ▼問合せ075(231)2017

◆聖ヨゼフ修道会▼黙想会「大きないのちに生かされている私」17日(土)～18日(日)場所 本部修道院(竜安寺)指導 藤原直達師(心のいほり・内観瞑想センター)対象 祈りの道を深めたい独身女性 参加費1,500円 問合せ電話075(462)0754山本

地区協議会から

◆カトリック奈良地区協議会▼右近こども祭り5日(月) 10時半 大和榛原▼聖書講座9・10日中川博道師、23・24日並木豊勝師

ブロック・小教区から

◆京都北部宮津ブロック▼ガラシヤ祭11日(日) 京丹後市弥栄町味土野

諸施設・諸活動から

◆JOC▼働いている青年の集い。最終金曜日19時半 京都働く人の家(九条教会前)連絡先090(8207)1831

◆カトリック聴覚障害者の会京都グループ▼手話学習会15日(木) 13時 河原町会館6階

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日1日(日) 14時、24日(土) 18時15分ミサ奉仕、その後練習

◆京都カノの会▼例会、結婚相談室4日(日) 13時半 河原町会館6階

◆京都キリシタン研究会▼都の聖母奉賛ミサ4日(日) 14時 將軍塚▼定例会はお休み▼京都の大殉教巡礼会24日(土) 9時半 河原町教会、元和キリシタン殉教の地碑、南蛮寺、26聖人発祥の地碑などの巡礼、事前申込要FAX075(822)2397

◆子羊会▼黙想会25日(日) 10時半 聖ヨゼフ修道会本部(竜安寺)指導 島基幸師(御受難会)

◆コロチェステ▼練習日毎月第2、第4、第5木曜日 河原町会館6階

◆在世フランススコ会京都兄弟会▼17日(土) 13時半

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会11日(日) 河原町教会

◆二金会▼例会9日(金) 11時 西陣教会

◆糖みその会▼例会29日(木) 19時半 九条教会ホール

◆心のともしび 5月番組案内

▼テレビ(衛星・ケーブル放送)スカイAスポーツプラス

*毎週土曜日朝8時45分より*シリウス聖書に学ぶ3日「イエスの復活」(最終話)。翌週よりSt.渡辺和子による新シリウスキリストのかおりが始まります。10日と17日「いつも喜んでいなさい」。24日と31日「絶えず祈りなさい」(但し24日は7時45分からに時間変更)

▼ラジオ(KBS京都ラジオ)

*5月のテーマ「相手の立場」。月々土 朝5時15分より5分間。問合せ075(211)9341
◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計52,014,372円(3月18日現在)

司祭の任命(3月29日付)

鶴山進栄師(新司祭)

京都南部地区南ブロックB担当司祭

京都カトリック青年センター担当司祭

アジア体験学習担当司祭

大塚司教の

5月のスケジュール

4日(日)	西舞鶴教会英語ミサ15時半
5日(月)	右近こども祭り10時半 (大和榛原)
7日(水)	教区聖書講座(ヴィリオンホール) 19時半
8日(木)	教区聖書講座(ヴィリオンホール) 10時半
10日(土)	第8回教区評議会13時半
11日(日)	京都南部地区合同堅信式(河原町) 14時
13日(火)	共同宣教司牧推進チーム事務局会議15時
14日(水)	中央協賛委員会
15日(木)	中央協賛司教委員会 「日本カトリック神学院」開校準備司教委員会
16日(金)	東京カトリック神学院 常任委員会
18日(日)	福岡教区宮原良治司教着座式
19日(月)	京都学園・京都南学園 学法理事会14時
20日(火)	青少年委員会15時
21日(水)	滋賀学園学法理事会14時

22日(木) 時
司教顧問会・責任役員会10時社福法カリタス会理事
会15時24日(土)
殉教者列福記念講演会
ヴィリオンホール(13時半)25日(日)
三重中勢ブロック司教
訪問(上野)28日(水)
メリノール女子学院理
事会14時29日(木)
司祭全体集会10時半
司祭評議会15時半

◆閉院・開院のお知らせ

▼ノートルダム教育修道女会鹿ヶ谷修道院を閉院して同じ左京区の松ヶ崎小竹藪町21へ移転し、小竹藪町修道院を開院しました。小竹藪町修道院の電話075(724)0771、FAX075(724)0772です。

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛にFAX075(211)4345か、henshu07@kyoto.catholic.jpに、発信者のお名前を明記してお寄せください。

リーダーをしよう!!

僕が初めて教区の中学生会にリーダーとして参加した春合宿から1年が経ちました。

以前の友人に誘われてミィティングに参加して以来、中学生会の活動は僕の生活の一部となっていました。これまでほとんど教会の行事・活動に参加してこなかった僕が今、中学生会のリーダーをしていることが不思議に思えるときがあります。

しかし、この1年間を振り返り考えてみると、そこには中学生会の魅力、リーダーとして参加する意義というものが存分にあるように思います。

その一つ目が「出会い」です。僕が初めて青年センターに来たときには、(当たり前ですが)初めて顔を合わせるリーダーがほとんどでした。しかし、ミィティングに参加することに緊張や不安は一掃され、お互いの意見や、時にはくだらないことも言い合える素晴らしい仲間となりました。他のリーダーの方達とはしっかりと自分の意見を述べている方が多く、自分とは違った価値観や考えを学ぶ貴重な場にもなっています。また、個性的な神父様も多く、沢山の刺激を頂いています。

二つ目が「自己の成長」です。

登美ヶ丘教会 岩田大志郎

ミィティング↓準備↓合宿↓反省というサイクルには、非常に多くの要素が詰まっていると思います。その中で葛藤し、落胆することもあります。その全てが良い経験になっていると思います。

そしてやはり「やりがい」というのが最大の魅力です。僕の一つひとつの言動が、少しでも中学生にとってプラスになれば良いな、などと難しいことを考えているのですが、実際には中学生と共に笑っている瞬間が一番幸せだったりします。

堅い文章になってしまいましたが、このスペースでは伝えきれないほどのアツい思いがあります。リーダーをしてみようかなと思った青年の皆さん、まずは青年センターに、「僕に会いに」足を運んでみてください。(笑) 8月は広島平和巡礼に行きます!

青年センターホームページ
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/

青年センターからのお知らせやジョパニの記事、掲示板等をご覧いただけます。
※携帯電話からもご覧いただけます。

青年センターあてな